



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年8月10日

上場会社名 滝沢ハム株式会社 上場取引所 JQ
 コード番号 2293 URL <http://www.takizawaham.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)瀧澤太郎
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)山口輝 TEL (0282) 23-5640
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|------|------|-------|------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 23年3月期第1四半期 | 7,040 | △5.7 | 57 | △47.2 | 60 | △34.4 | △28 | — |
| 22年3月期第1四半期 | 7,464 | △8.8 | 108 | 250.3 | 93 | 177.5 | 84 | 185.3 |

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年3月期第1四半期 | △2 82 | — |
| 22年3月期第1四半期 | 8 27 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 23年3月期第1四半期 | 11,883 | 2,005 | 16.9 | 195.21 |
| 22年3月期 | 11,955 | 2,045 | 17.1 | 199.11 |

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 2,004百万円 22年3月期 2,044百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 22年3月期 | — | 0 00 | — | 3 00 | 3 00 |
| 23年3月期 | — | | | | |
| 23年3月期(予想) | | 1 00 | — | 2 00 | 3 00 |

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|--------|-----|------|------|------|------|-------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 15,500 | 2.7 | 240 | 17.1 | 190 | 18.6 | 170 | 36.4 | 16 55 |
| 通期 | 30,800 | 2.7 | 500 | 17.5 | 385 | 11.3 | 340 | 45.9 | 33 11 |

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は【添付資料】P.3「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

新規 — 社（ — ）、除外 — 社（ — ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

| | | | |
|----------|-------------|----------|-------------|
| 23年3月期1Q | 10,510,000株 | 22年3月期 | 10,510,000株 |
| 23年3月期1Q | 240,033株 | 22年3月期 | 240,033株 |
| 23年3月期1Q | 10,269,967株 | 22年3月期1Q | 10,269,967株 |

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

（注意事項）

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。
- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、（添付資料）3ページ「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------------|---|
| 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 2 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 3 |
| 2. その他の情報 | 3 |
| (1) 重要な子会社の異動の概要 | 3 |
| (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 | 3 |
| (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 | 3 |
| (4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書 | 6 |
| 【第1四半期連結累計期間】 | 6 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 7 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記 | 8 |
| (5) セグメント情報 | 8 |
| (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 8 |

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、輸出産業に一部回復の兆しがみられるものの、雇用環境や個人所得に対する先行きの不透明感があり依然として厳しい状況が続きました。

当業界におきましては、宮崎県で発生しました口蹄疫の影響による原料価格の変動や消費者の低価格志向が続くなど厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の中で、当社グループは、衛生管理レベルの向上と小集団活動による生産性の向上を図るとともにローコスト・オペレーションを推進し原価低減を図ってまいりました。また、販売面については、提案営業の推進と新商品の開発等により売上の拡大に努めてまいりました。

しかしながら、当第1四半期連結累計期間の売上高は、国産牛肉及び国産豚肉等の販売不振と消費低迷の影響により食肉の売上が大幅に減少したため70億40百万円（前年同期比5.7%減）となりました。

損益面につきましては、製造コストの削減及び販売の効率化による経費削減効果はありましたが、売上高の減少要因により営業利益は57百万円（前年同期比47.2%減）、経常利益は60百万円（前年同期比34.4%減）となり減益となりました。四半期純損益につきましては、特別損失として投資有価証券評価損74百万円を計上したことから、四半期純損失28百万円（前年同期84百万円の四半期純利益）となりました。

部門別の概況は次のとおりであります。

食肉加工品部門

食肉加工品部門につきましては、ハム類は新商品を中心に好調に推移しましたが、ソーセージ類の売上が減少したため減少いたしました。この結果、この部門の売上高は、26億87百万円（前年同期比2.4%減）となりました。

惣菜その他加工品部門

惣菜その他加工品部門につきましては、商品の低価格化の影響と販売不振により減少しました。この結果、この部門の売上高は11億48百万円（前年同期比4.0%減）となり減少しました。

食肉部門

食肉部門につきましては、輸入豚肉及び鶏肉の売上は回復してまいりましたが、国産牛肉及び国産豚肉の販売不振により減少しました。この結果、この部門の売上高は31億61百万円（前年同期比8.9%減）となり減少しました。

その他部門

その他部門につきましては、物流部門の売上が減少したため、この部門の売上高は、42百万円（前年同期比4.7%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ71百万円減少し、118億83百万円となりました。これは主に、売掛金の減少によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ31百万円減少し、98億77百万円となりました。これは主に、長期借入金の増加はありましたが、短期借入金が増加したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ40百万円減少し、20億5百万円となりました。これは主に、利益剰余金の減少によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ15百万円減少し13億41百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、2億91百万円（前年同期比26.8%増）となりました。これは主に仕入債務の増加及びその他の負債（主に未払金）の増加によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は、38百万円（前年同期比45.4%増）となりました。これは主に有形固定資産の取得によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出した資金は、2億68百万円（前年同期比200.7%増）となりました。これは主に短期借入金及び長期借入金の返済によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、現時点において平成22年5月14日に公表した業績予想の変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期末の貸倒実績率が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。

② 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

連結財務諸表に関する会計基準の適用

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づき財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用に伴い、当第1四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純損失」の科目を表示しております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日) |
|---------------|-------------------------------|--|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,573,551 | 1,588,806 |
| 受取手形及び売掛金 | 2,606,590 | 2,702,062 |
| 商品及び製品 | 1,164,529 | 1,090,100 |
| 仕掛品 | 144,012 | 132,341 |
| 原材料及び貯蔵品 | 188,352 | 164,486 |
| 繰延税金資産 | 158,422 | 158,367 |
| その他 | 27,478 | 23,459 |
| 貸倒引当金 | △4,063 | △5,842 |
| 流動資産合計 | 5,858,875 | 5,853,781 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 1,754,868 | 1,796,493 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 234,885 | 245,974 |
| 土地 | 2,666,502 | 2,671,255 |
| リース資産(純額) | 195,024 | 161,938 |
| その他(純額) | 69,444 | 70,041 |
| 有形固定資産合計 | 4,920,726 | 4,945,704 |
| 無形固定資産 | | |
| 投資その他の資産 | 22,358 | 12,757 |
| 投資有価証券 | 825,389 | 878,236 |
| 繰延税金資産 | 8,213 | 8,019 |
| その他 | 265,637 | 274,229 |
| 貸倒引当金 | △17,692 | △17,671 |
| 投資その他の資産合計 | 1,081,548 | 1,142,813 |
| 固定資産合計 | 6,024,632 | 6,101,275 |
| 資産合計 | 11,883,508 | 11,955,056 |

(単位：千円)

| | 当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日) |
|--------------|-------------------------------|--|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 2,335,436 | 2,195,846 |
| 短期借入金 | 3,881,136 | 4,173,640 |
| リース債務 | 38,089 | 31,065 |
| 未払法人税等 | 9,550 | 58,748 |
| 賞与引当金 | 43,290 | 128,038 |
| その他 | 903,490 | 748,935 |
| 流動負債合計 | 7,210,993 | 7,336,274 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 1,329,953 | 1,251,442 |
| リース債務 | 169,244 | 140,959 |
| 長期未払金 | 349,528 | 367,861 |
| 退職給付引当金 | 672,202 | 666,799 |
| 役員退職慰労引当金 | 97,539 | 95,158 |
| 負ののれん | 17,037 | 19,471 |
| 環境対策引当金 | 10,555 | 10,555 |
| その他 | 20,678 | 20,678 |
| 固定負債合計 | 2,666,738 | 2,572,925 |
| 負債合計 | 9,877,731 | 9,909,199 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,080,500 | 1,080,500 |
| 資本剰余金 | 685,424 | 685,424 |
| 利益剰余金 | 371,334 | 431,105 |
| 自己株式 | △3,877 | △3,877 |
| 株主資本合計 | 2,133,382 | 2,193,152 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △128,630 | △148,297 |
| 評価・換算差額等合計 | △128,630 | △148,297 |
| 少数株主持分 | 1,024 | 1,002 |
| 純資産合計 | 2,005,776 | 2,045,857 |
| 負債純資産合計 | 11,883,508 | 11,955,056 |

(2) 四半期連結損益計算書

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日) |
|-------------------------------|---|---|
| 売上高 | 7,464,888 | 7,040,235 |
| 売上原価 | 6,102,649 | 5,754,553 |
| 売上総利益 | 1,362,238 | 1,285,682 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,254,077 | 1,228,604 |
| 営業利益 | 108,160 | 57,078 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 31 | 19 |
| 受取配当金 | 9,294 | 10,793 |
| 補助金収入 | 3,264 | 7,083 |
| その他 | 13,274 | 11,042 |
| 営業外収益合計 | 25,865 | 28,939 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 29,045 | 25,032 |
| 過年度退職給付費用 | 11,685 | — |
| その他 | 281 | — |
| 営業外費用合計 | 41,012 | 25,032 |
| 経常利益 | 93,013 | 60,984 |
| 特別利益 | | |
| 貸倒引当金戻入額 | 1,055 | 1,775 |
| 特別利益合計 | 1,055 | 1,775 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 961 | 5,287 |
| 減損損失 | 469 | 4,752 |
| 投資有価証券評価損 | — | 74,063 |
| その他 | 67 | 2,190 |
| 特別損失合計 | 1,499 | 86,294 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | 92,569 | △23,533 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 6,916 | 5,460 |
| 法人税等調整額 | △4 | △55 |
| 法人税等合計 | 6,911 | 5,405 |
| 少数株主損益調整前四半期純損失(△) | — | △28,938 |
| 少数株主利益 | 730 | 21 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 84,928 | △28,960 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日) |
|-------------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | 92,569 | △23,533 |
| 減価償却費 | 66,273 | 70,942 |
| 減損損失 | 469 | 4,752 |
| 引当金の増減額(△は減少) | △61,438 | △78,721 |
| 受取利息及び受取配当金 | △9,326 | △10,813 |
| 支払利息 | 29,045 | 25,032 |
| 固定資産除却損 | 961 | 5,287 |
| 投資有価証券評価損益(△は益) | — | 74,063 |
| 未払消費税等の増減額(△は減少) | △53,004 | △15,487 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 40,195 | 95,460 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | 84,288 | △109,967 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △161,238 | 139,589 |
| その他の資産の増減額(△は増加) | 21,867 | 2,180 |
| その他の負債の増減額(△は減少) | 227,481 | 189,129 |
| その他 | △10,664 | △13,041 |
| 小計 | 267,482 | 354,874 |
| 利息及び配当金の受取額 | 9,326 | 10,813 |
| 利息の支払額 | △28,102 | △25,766 |
| 法人税等の支払額 | △18,724 | △48,352 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 229,981 | 291,568 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 投資有価証券の取得による支出 | △2,618 | △1,743 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △29,418 | △23,329 |
| 無形固定資産の取得による支出 | — | △10,000 |
| 固定資産の除却による支出 | △108 | △3,911 |
| 貸付けによる支出 | △500 | △650 |
| 貸付金の回収による収入 | 1,383 | 774 |
| その他 | 5,000 | 672 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △26,262 | △38,188 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | 38,501 | △167,000 |
| 長期借入れによる収入 | — | 200,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △108,465 | △246,993 |
| 長期末払金の返済による支出 | △18,341 | △18,333 |
| 配当金の支払額 | △18 | △28,000 |
| その他 | △1,004 | △8,309 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △89,328 | △268,635 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | — | — |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 114,390 | △15,255 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,223,835 | 1,357,071 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1,338,225 | 1,341,816 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

当社グループの取扱う製品等を種類・性質、製造方法、販売市場等の類似性に基づいて区分した結果、同一事業種類の売上高及び営業利益の金額が、いずれも全セグメントの90%を超えていますので、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

当社グループは、在外連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

当社グループは、海外売上高がないため、該当事項はありません。

【セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

当社及び連結子会社の営む事業は、食肉及び食肉加工品の製造・販売並びにこれに付随する業務であり、また、すべての拠点は国内に所在しております。当社及び連結子会社の構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象として報告セグメントとすべきものはありません。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。